



じんぐうじゅひでき
神宮次秀樹 議員(政友みらい)
観光戦略の展開及び
観光資源の開発と
整備について



Q 林道作原沢入線とその周辺を観光スポットにすべきと考えるが、いかがか。
A 観光スポーツ部長

林道作原沢入線は、平成31年4月以降、土砂流出が原因で通行止めとなり、対策工事に着手しているところですが、現在本市では、令和4年度から7年度を計画期間とする第4次佐野市観光推進基本計画を策定していますが、この中で、林道作原沢入線の展望台駐車場の整備及び群馬県みどり市等近隣自治体との連携による交流促進を図ることを方針の一つに掲げています。

今後、林道作原沢入線の通行止めが解除された際は、新たな観光スポットとしての展望台駐車場の整備を行うことができるとも、近隣自治体とともに観光誘客の推進に取り組んでいきたいと考えています。

その他の質問

- ☆閉校となった学校の活用方法について
- ☆特定外来生物「クビアカツヤカミキリ」等の被害と対策について



こぐれ ひろし
小暮 博志 議員(政友みらい)
上下水道の有収率向上
について



Q 佐野地区、田沼地区、葛生地区や簡易水道区域の有収率はどのようになっているのか。
A 上下水道局長

また、漏水発生 の 解 明 と 対 応 を 深 く 検 討 す べ き で あ り 、 原 因 の 究 明 の た め 、 外 部 機 関 と の 共 同 研 究 も 考 え る と よ い と 思 っ て い る の か 。

本市全体の有収率は81.85%となっており、地域別に見ると、佐野地区が82.89%、田沼地区の旧簡易水道区域が78.43%、それ以外の区域が84.36%、葛生地区の旧簡易水道区域が74.37%、それ以外の区域が68.70%となっています。

現在、栃木県内や両毛圏域の水道事業体などと協議会を設置しています。こうした共通の課題を抱える水道事業体と意見交換、情報交換などを活発に行い、漏水対策に生かしていく取組は今後必要だと考えています。



たかはし こうすけ
高橋 功 議員(倉生会)
再生可能エネルギー
の活用と省エネルギー
対策について



Q 地域から搬出される間伐材等を活用した木質バイオマス発電の検討経過と、検討した結果の具体的な方向性について伺いたい。
A 市民生活部長

令和元年度に、群馬県上野村、川場村及び栃木県那珂川町の木質バイオマス発電所について、地域の特性、考え方の発電や熱利用の状況等を視察し、それぞれの結果を踏まえ、木質バイオマス発電に取り組む効果や課題等を整理し、本市の実現可能性について検討を進めてきました。

令和元年東日本台風やコロナ禍の影響により、具体的な方向性の結論は出ていません。今後、第2次佐野市総合計画中期基本計画において、地域から搬出される間伐材等を利用した木質バイオマス発電を始め、民間活力を活用した再生可能エネルギーの導入の可能性を検討したいと考えています。

その他の質問

- ☆令和4年度予算編成方針について
- ☆あきやま学寮等の施設整備について
- ☆カーボンニュートラル推進住宅設備費補助制度の創設について

と 考 え て い ま す 。